

かわべっこ(学校評価号)

厳寒の候、平素は、本校教育に対しましてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、皆様にご協力いただいた学校評価の結果についてご報告いたします。ぜひご一読ください。また、内容につきましてご不明な点などございましたら、遠慮なくお問い合わせくださいますようお願いいいたします。

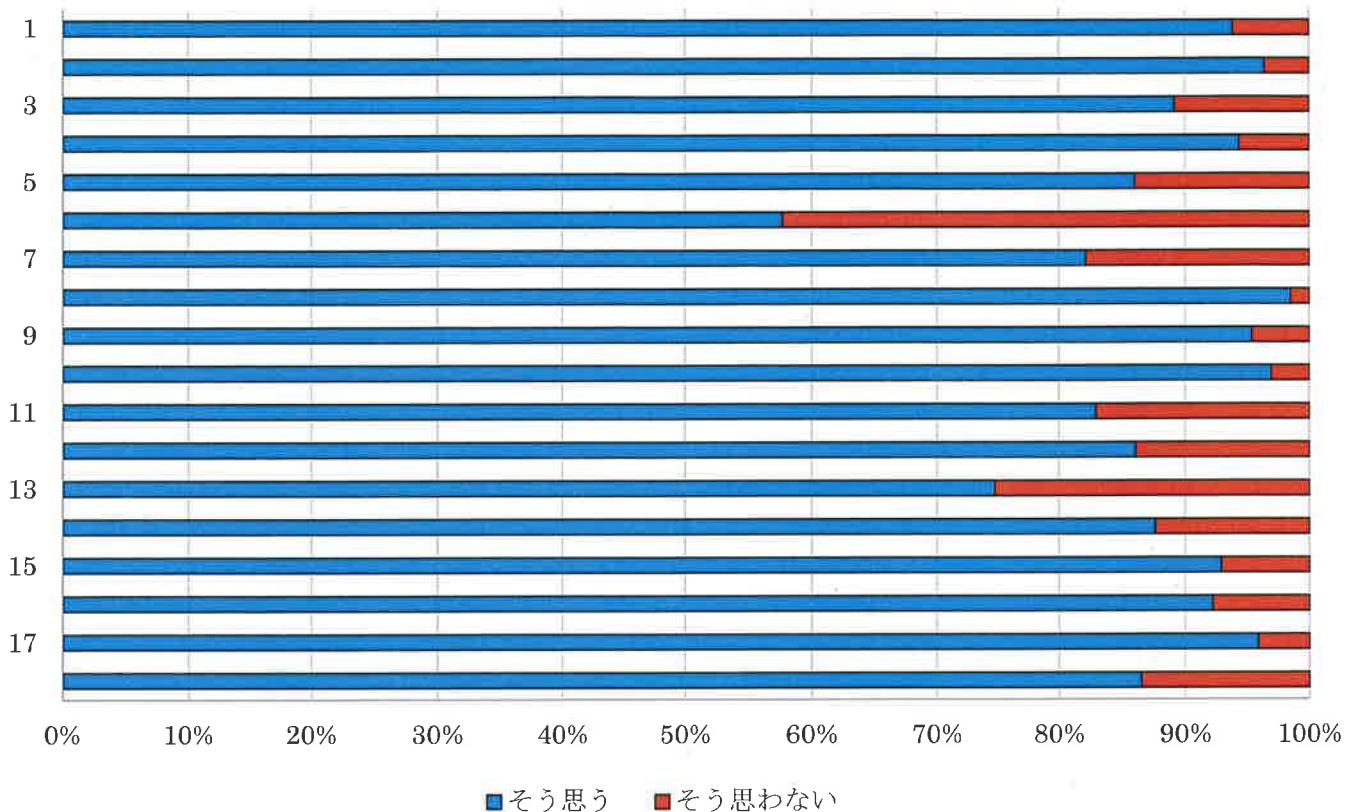
1 児童アンケート結果について

<設問>

- 1 学校生活は楽しい
- 2 学校で友達と仲良くしている
- 3 学校の学習は楽しい
- 4 学校で学習している内容がよくわかっている
- 5 学習した内容がわからなかつたとき、先生や友達に質問したり自分で調べたりしている
- 6 授業中は、自分の考えを説明したり発表したりしている
- 7 授業中は、友達の意見を自分と比べながら聞いている
- 8 先生は、分かりやすく教えてくれる
- 9 先生は、よいことをしたときやがんばったときはほめてくれる
- 10 先生は、困っているとき、相談にのってくれる
- 11 家庭での学習が毎日できている
(家庭学習の時間 10×学年 + 10分)
- 12 おうちで決めたゲームやネットを使う時間を守っている
- 13 早寝、早起きができている
- 14 進んであいさつをしている
- 15 いろいろなきまりや約束を守っている
- 16 困っている人がいたら進んで助けている
- 17 友達と協力するのは楽しい
- 18 自分にはよいところがある

<グラフ>

<全校児童>



<全校児童の学校評価の考察>

90%を超えている項目が9つあります。特に「学校で友達と仲良くしている」「先生は分かりやすく教えてくれる」「先生は、困っているとき、相談にのってくれる」「友達と協力するのは楽しい」の4項目は高いです。このことから、児童は、友達と仲良く協力しながら楽しく学校生活を送ることができていると言えます。また、分かりやすく学習を教えてくれ、困ったときには相談に乗ってくれる教員との信頼関係がしっかりと築かれています。

昨年度、課題として挙がっていた「おうちで決めたゲームやネットを使う時間を守っている」の項目については、5%程度上がっており、「チャレンジノーメディア」等の取組の大きな成果だと思います。いつもご協力をいただき、ありがとうございます。一方、80%以下の項目として「授業中は、自分の考えを説明したり発表したりしている」「早寝、早起きができる」と挙げられます。児童は、授業中の発表について課題として自覚はしているものの、個人差も大きく、改善には至っていないことがうかがえます。昨年度と比較しても、20%程度下がっていることから、発表が得意な児童と苦手な児童の二極化が進んでいるようにも思えます。児童が主体の授業づくりを念頭に置きながら、授業改善に励みたいと思います。基本的な生活習慣については、引き続き学校と家庭が連携しながら取組を進め、これからも子どもたちのよりよい成長のために、取り組んでいきたいと思います。

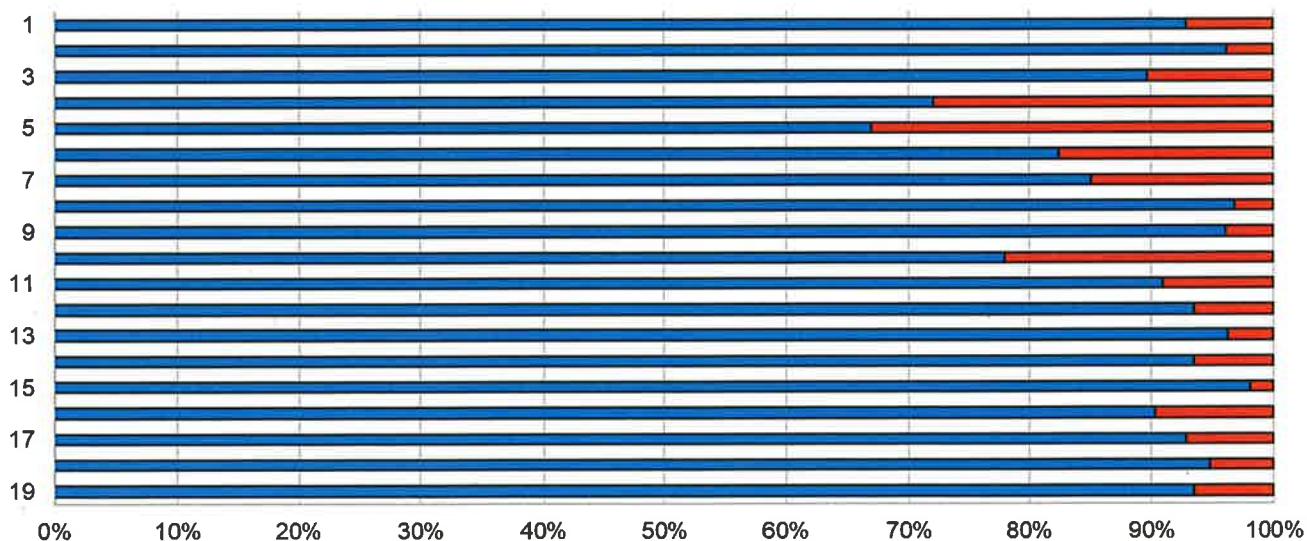
2 保護者と教職員のアンケート結果について

<設問>

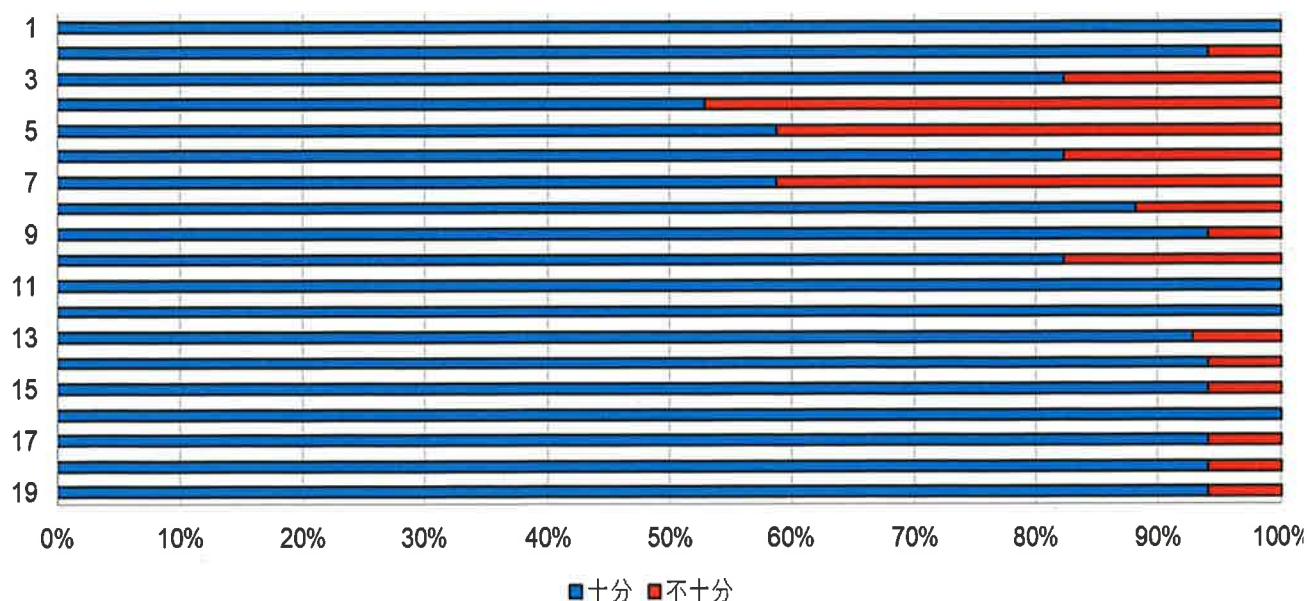
- 1 児童は、楽しく学校に行くことができていると思いますか
- 2 児童は、思いやりの心をもって友達と接し、仲良くできていると思いますか
- 3 児童は、学校で学習している内容が身に付いていると思いますか
- 4 児童は、家庭での学習が毎日できている（家庭学習の時間 10×学年+10分）と思いますか
- 5 児童は、おうちで決めたゲームやネットを使う時間などのルールや決まりを守っていると思いますか
- 6 児童は、早寝、早起き、朝ご飯等の基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか
- 7 児童は、進んで気持ちのよいあいさつをしていると思いますか
- 8 児童は、社会のルールや決まりを守っていると思いますか
- 9 児童は、困っている人がいたら進んで助けていると思いますか
- 10 児童は、夢をもち、自分できることに進んで取り組むことができていますか
- 11 学校は、分かりやすく楽しい授業づくりに取り組んでいると思いますか
- 12 学校は、豊かな心を育てる教育を推進していると思いますか
- 13 学校は、児童の体力や健康の増進に努めていると思いますか
- 14 学校は、児童や保護者の悩みや相談に適切に応じていると思いますか
- 15 学校は、児童の安全指導や安全対策を行っていると思いますか
- 16 学校は、学校だより等で学習や学校生活の様子を分かりやすく伝えていると思いますか
- 17 学校は、保護者や地域の人が授業や行事などを参観しやすいように工夫していると思いますか
- 18 学校、家庭、地域が連携して児童の教育を行っていると思いますか
- 19 学校の施設や設備などの学習環境は、整備されているだと思いますか

<グラフ>

<保護者>



<教職員>



3 保護者と教職員のアンケート結果からの考察

<児童についての項目 1～10 の考察>

今年度、アンケートの質問内容を変更したので、昨年度との比較ができない項目もありますが、昨年度の課題であった、項目4「家庭学習の習慣の定着」、項目5「メディアコントロールの能力と態度の向上」は、引き続き課題と感じられていることが分かります。この2項目については教職員アンケートでも同じ傾向が見られます。放課後のゲーム上のトラブルも多数報告されていることから、機会あるごとにネットモラル等を学校でも家庭でも繰り返し指導をしていく必要があると思います。項目7「あいさつ」については、保護者と教職員で児童に対する捉えが大きく違っていることが分かります。保護者の中には、家庭内でのあいさつができるかどうかで評価されていらっしゃる方もいるかもしれません、教職員が児童に求めている「進んで気持ちのよいあいさつをする姿」は家庭だけでなく、学校でも地域でもあいさつができる児童と捉えているためだと考えられます。児童にも「気持ちのよいあいさつ」とはどんなあいさつのか、あいさつをするとどんないいことがあるのか等をしっかり考えさせ、繰り返し指導をしていきたいと思います。新しい項目10「主体性の向上」についても、児童の頑張りや良さをほめ、さらに伸ばしていくことで自己肯定感や主体性が高まっていくと考えます。学校、家庭、地域で連携を取りながら、川辺小学校の子どもたちと一緒に育てていきたいと思います。

本校児童の課題は、

第1に 「児童の家庭学習の習慣の定着」

第2に 「メディアコントロールの能力と態度の向上」

第3に 「主体性の向上」

<学校教育についての項目 11～19 の考察>

項目11、12、16については、保護者と教職員の捉えが違っていることが分かります。この3項目について教職員は、児童や保護者のために日々努力し、授業づくり、豊かな心の育成、情報の公開に取り組んでいると評価しています。学校側として適切に対応している、十分に指導や対策を行っている、分かりやすく伝えていると思っていることが、保護者の方には、やや不十分、物足りないと評価されているということを改めて認識するとともに、保護者の全部の項目で90%を超えていた点から多くの方が学校側の取り組みについて高い評価をしてくださっていることも分かりました。保護者と教職員の捉えの違いについては結果を真摯に受け止め、より一層の指導や対策に努めたいと思います。

本校の課題は、

第1に 「学校、家庭、地域の連携の強化」

第2に 「児童や保護者の相談対応の改善」

来年度に向けての課題としてしっかりと取り組み、来年度のアンケートでは改善した結果が見られるよう努力していきたいと考えています。どれも学校と家庭と地域が連携し、協力していくことが不可欠な課題です。これからも引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。